

人と環境にやさしい

ネオ・ルーフィング

人を想い、
地球を想う

三ツ星ベルト株式会社



加硫ゴム系シート防水工法用 主要材料



1.0mmから2.0mmまで4種類の汎用タイプ ネオ・ルーフィングE

1.2mmから2.0mmまで接着剤付タイプ ネオ・ルーフィングE(糊付き)

耐候性のあるEPDMを用いた防水シートで、60年以上の実績があり、一般屋上防水、ドーム屋根、ALC/パネル屋根などに広く使用されています。下地の動きに対する追従性、曲面下地へなじむ柔軟性など、露出防水材として高く評価されています。



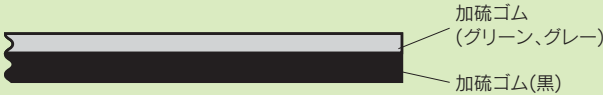
厚さ(mm)注2) E: 1.0、1.2、1.5、2.0
E(糊付き): 1.2、1.5、2.0

適用できる工法

露出	●
軽舗装	●注1)
押さえ	
断熱露出	●
断熱押さえ	
改修	●

カラーゴム層積層防水材 ネオ・ルーフィングカラー

上層にカラーブレンドのEPDMゴム層を積層した防水シートです。表面塗装の手間が省け工期の短縮ができます。経年後の塗り替え費が節約できます。



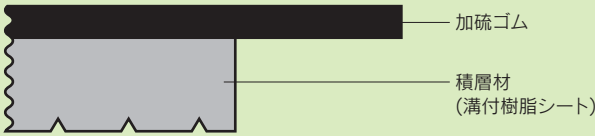
厚さ(mm)注2) 1.2、1.5、2.0

適用できる工法

露出	●
軽舗装	
押さえ	
断熱露出	●
断熱押さえ	
改修	●

ふくれ防止機能付加防水材 ネオ・ルーフィングSPE®

加硫シートに4.0mm厚溝付樹脂シートを積層した防水シートです。シートのふくれ防止効果があります。



厚さ(mm)注2) 総厚(加硫ゴム厚) 5.2(1.2)

適用できる工法

露出	●
軽舗装	●注1)
押さえ	
断熱露出	
断熱押さえ	
改修	●

ALCパネル下地に適した片面工法用シート防水材 ネオ・ルーフィングEB

加硫シートに粘着層を積層したALC/パネル下地に適した片面工法用防水シートで、下地のみに接着剤を塗布し、張り付けることができ、工期の短縮がはかれます。



厚さ(mm)注2) 1.3、1.5

適用できる工法

露出	●
軽舗装	●注1)
押さえ	
断熱露出	
断熱押さえ	
改修	●

押さえ工法専用防水材(粘着層付) ネオ・ルーフィングFB

加硫シートに粘着層を積層した防水シートです。押さえ層打設用の防水シートで地下鉄、高架など特に下地の大きな挙動が予想される場合に適しています。



厚さ(mm)注2) 1.7

適用できる工法

露出	
軽舗装	
押さえ	●
断熱露出	
断熱押さえ	●
改修	

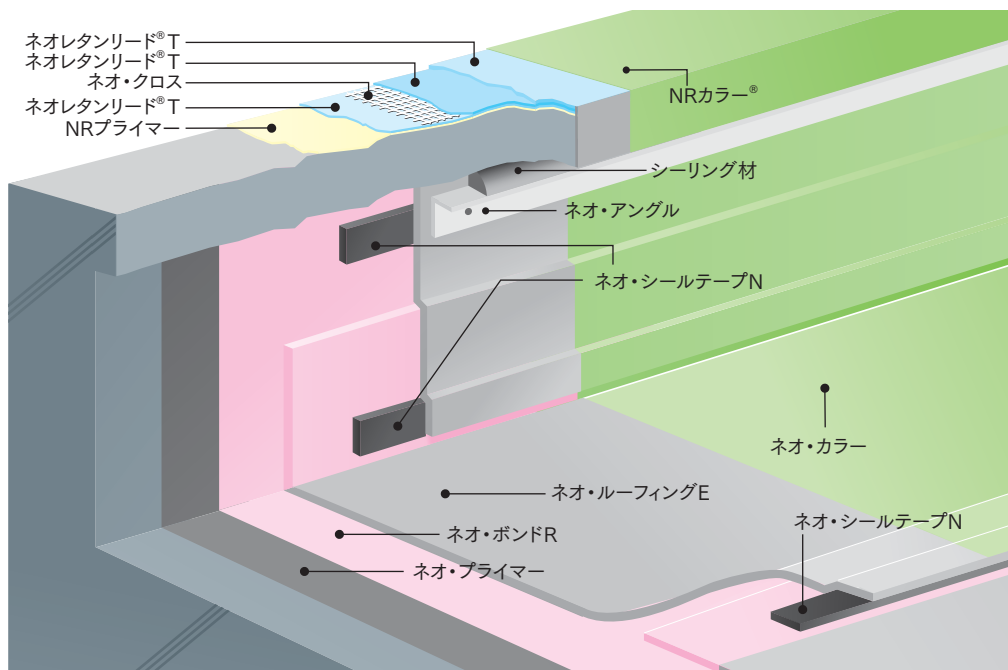
■ネオ・ルーフィングEは、JIS A 6008(合成高分子系ルーフィングシート)の均質加硫ゴムに合格した製品です。

注1)ネオ・トップルーFA (0.8~1.2kg/m²) を塗布した場合。
注2)製品の長さ、幅については、P5~6を参照してください。

RV-101 工法〈施工例〉

日本建築学会 JASS8仕様 S-RF (RV-101、RV-102、RV-201※) ※軽歩行仕上げです

※ネオ・カラークール、ネオ・カラークリーン®を塗布した高日射反射率防水工法はグリーン購入法特定調達品対象となります。



※笠木のネオレタナリード®は施工例であり、現場単位で仕様を選択してください。

60年以上の実績のある、シート防水のスタンダードな仕様です。
一般屋上防水、ドーム屋根、ALC屋根など広く使用されています。

弾性、伸縮特性が優れているため、下地への適応性に優れ、亀裂追従性、繰り返し伸縮に優れています。

常温での施工が可能で、工程数が少なく、工期の短縮が図れます。比較的急勾配な屋根から、変形屋根に至る広範囲の屋根に施工が可能です。

仕様 No.	適用下地	1	2	3	4
RV-101	RC PCa 部材	ネオ・プライマー 0.2kg/m ²	ネオ・ボンド R 0.25kg/m ² (下地) 0.15kg/m ² (シート)	ネオ・ルーフィング E	ネオ・カラー
RV-101C				ネオ・ルーフィングカラー	
RV-101EB			ネオ・ボンド 0.3kg/m ² (下地)	ネオ・ルーフィング EB	ネオ・カラー
RV-102	ALC パネル	ネオ・プライマー ALC 0.45kg/m ² または フラットタイト®P 0.6kg/m ²	ネオ・ボンド R 0.25kg/m ² (下地) 0.15kg/m ² (シート)	ネオ・ルーフィング E	ネオ・カラー
RV-102C				ネオ・ルーフィングカラー	
RV-102EB			ネオ・ボンド 0.3kg/m ² (下地)	ネオ・ルーフィング EB	ネオ・カラー
仕様 No.	適用下地	1	2	3	4
RV-201	RC、PCa 部材 ALC パネル	RC、PCa 部材 ネオ・プライマー 0.2kg/m ² ALC パネル ネオ・プライマー ALC 0.45kg/m ² 又は フラットタイト®P 0.6kg/m ²	ネオ・ボンド R 0.25kg/m ² (下地) 0.15kg/m ² (シート、緩衝材)	ネオ・ルーフィング E	ネオ・トップルーフ A (0.8 ~ 1.2kg/m ²)
RV-201SP				ネオ・ルーフィング SPE®	

※仕上げ塗料は標準カラー、高耐候性塗料、高日射反射率塗料も選択できます。

※フラットタイト®Pの塗布量はフラットタイト®Pを1、水1、セメント2(重量比)を混合した場合です。

※ネオ・ルーフィングカラー、ネオ・ルーフィングSPE®、ネオ・ルーフィングEBについては専用カタログ
をご参照ください。

※日本建築学会JASS8仕様の場合、ネオ・カラーAまたはネオ・カラーEの塗布量は0.25kg/m²
です。

詳しくは、ネオ・ルーフィング標準施工仕様書をご参照ください。

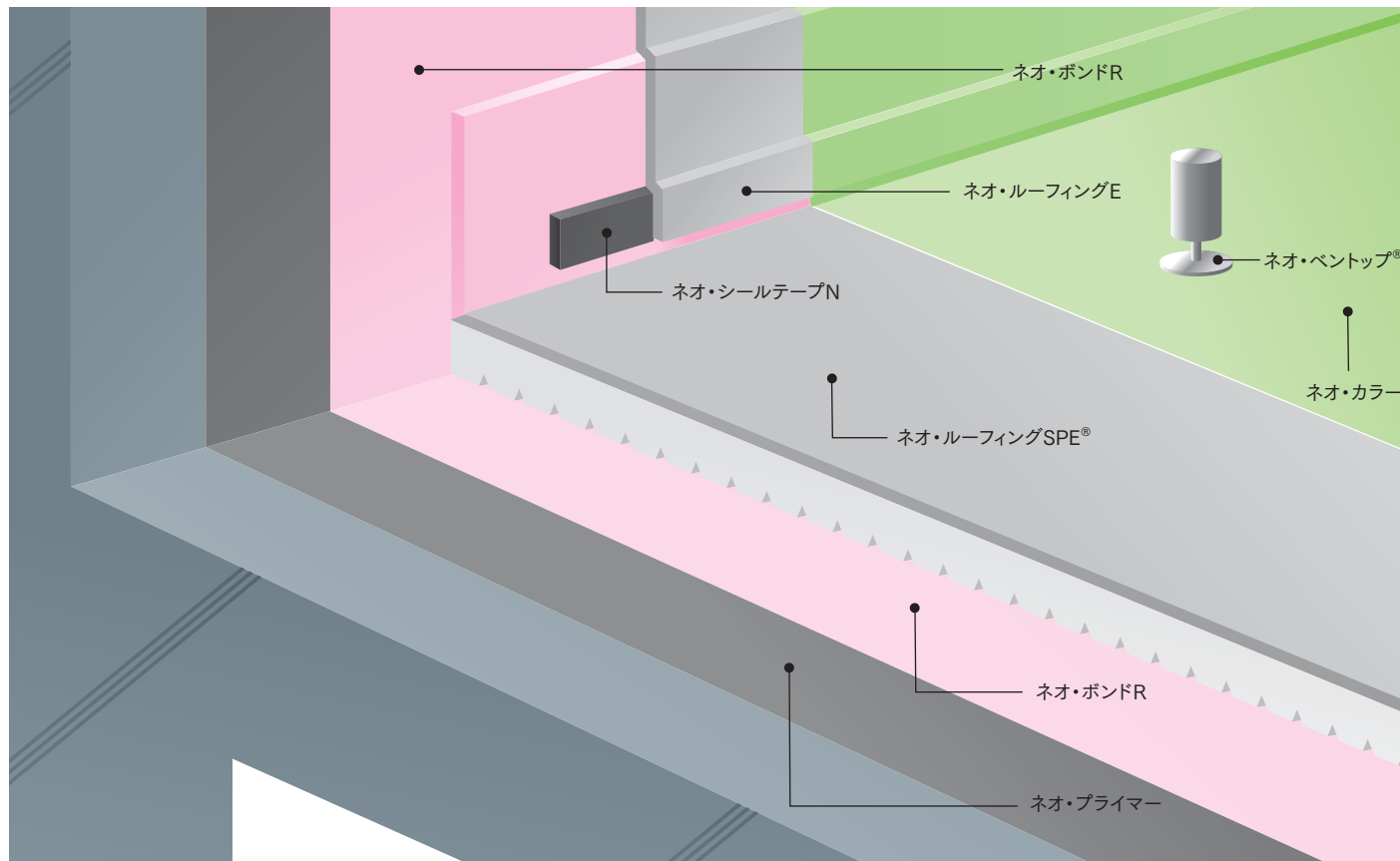
※ALCパネル下地の場合の工法No.は末尾の数字が2になります。(例 RV-202工法)

※ALCパネル下地の場合には、ネオ・ルーフィングEBを用いたRV-202EBの施工も可能です。

※ネオ・ルーフィングE(糊付)を採用した場合には、シート面に接着剤を塗布する必要はありません。

RV-101SP工法〈施工例〉

※ネオ・カラークール、ネオ・カラークリーン®を塗布した高日射反射率防水工法はグリーン購入法特定調達品対象となります。



下地水分を脱気筒へ導く溝付樹脂層を積層した防水シートを使用します。
ふくれ防止効果があります。

ふくれ防止機能付加シート接着工法 (RV-101SP) 適用下地: RC

1	ネオ・プライマー	0.2kg/m ²
2	ネオ・ボンドR	0.25kg/m ² (下地)、0.15kg/m ² (シート)
3	ネオ・ルーフィングSPE®	
4	ネオ・カラー	

※立上り周囲及び構造物周囲は積層材とネオ・ルーフィングEを別施工することができます。
詳しくは、専用カタログ・標準施工仕様書をご参照ください。

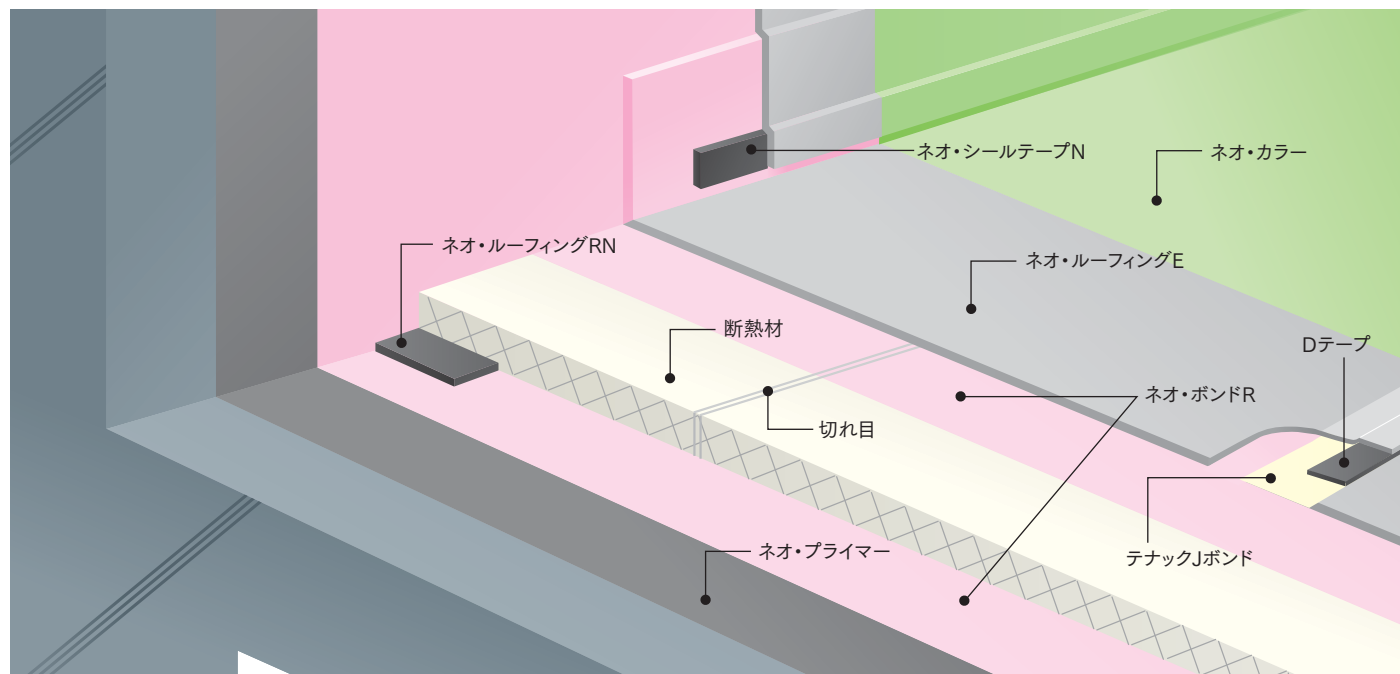
※仕上げ塗料は標準カラー、高耐候性塗料、高日射反射率塗料も選択できます。

ふくれ防止対策についてのお願い

- デッキプレート下地、打ち込み断熱下地でコンクリート中の水分が逃げにくい。
- 下地の乾燥養生期間が十分にとれない。
など、下地の水分の影響が大きく、ふくれ発生の心配がある場合には
- ◎ネオ・ルーフィングSPE®等の脱気工法の採用
- ◎立上り部での脱気板の設置、脱気テープ工法
などふくれ防止対策が必要です。ご計画の段階で当社までお問い合わせください。

RV-401工法〈施工例〉

※ネオ・カラークール、ネオ・カラークリーン®を塗布した高日射反射率防水工法はグリーン購入法特定調達品対象となります。



加硫ゴム系シート防水の軽量メリットと外断熱による省エネルギーに優れた工法です。

断熱材は発泡ポリエチレンを使用します。断熱材の厚みを変えることにより、所要の断熱効果を得ることができます。

仕様No.	適用下地	1	2	3	4	5	6
RV-401	RC、PCa部材 ALC/パネル	RC、PCa部材 ネオ・プライマー 0.2kg/m ² ALC/パネル	ネオ・ボンドR 0.25kg/m ² (下地) 0.15kg/m ² (断熱材)	断熱材 (発泡ポリエチレン)	ネオ・ボンドR 0.15kg/m ² (断熱材) 0.15kg/m ² (シート)	ネオ・ルーフィングE	ネオ・カラー
NB-401		ネオ・プライマーALC 0.45kg/m ² 又はフラットタイト®P				ニューブレン®	
RV-401C		又はフラットタイト®P 0.6kg/m ²				ネオ・ルーフィングカラー	

※断熱材の厚さは50mmまでは「建築基準法」の防火関連規定に基づき建設省告示1365号および1361号で認められています。

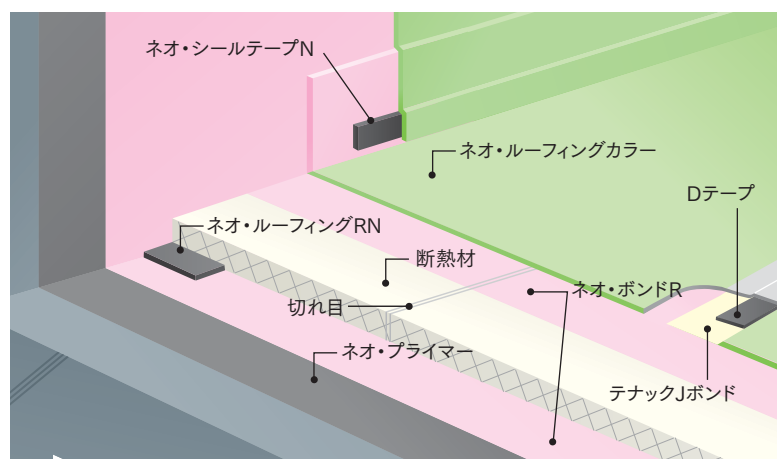
※断熱材の種類、厚みについてはご相談ください。

※日本建築学会JASS8仕様の場合、ネオ・カラーAまたはネオ・カラーEの塗布量は0.25kg/m²です。

※ネオ・ルーフィングE(欄付)を採用した場合には、シート面に接着剤を塗布する必要はありません。詳しくは、標準施工仕様書をご参照ください。

※仕上げ塗料は標準カラー、高耐候性塗料、高日射反射率塗料も選択できます。

RV-401C工法〈施工例〉



ネオ・ルーフィングカラー

加硫ゴム系カラーシートを使用します。
断熱材は発泡ポリエチレンを使用します。

詳しくは、専用カタログ・標準施工仕様書をご参照ください。

製品一覧表

品 名		規 格	主工法	備 考
シート防水材及び副資材				
加硫ゴム系シート防水材				
ネオ・ルーフィングE	1.0mm厚	1.0mmT×1,200mmW×20mL	露出工法一般タイプ	
	1.2	1.2×1,200×10,15,20		
	1.5	1.5×1,200×15		
	2.0	2.0×1,200×10		
ネオ・ルーフィングE糊付き	1.2	1.2×1,200×10,15	露出工法一般タイプ	フィルム無し 接着剤付きシート
	1.5	1.5×1,200×10		
	2.0	2.0×1,200×10		
ネオ・ルーフィングカラー	1.2	1.2×1,200×20	カラーゴム層積層タイプ	
	1.5	1.5×1,200×15		
	2.0	2.0×1,200×10		
ネオ・ルーフィングSPE®	5.2(1.2+4.0)	5.2×1,200×20	脱気機能付加タイプ	
ネオ・ルーフィングEB	1.3	1.3×1,200×20	ALC/パネル向き	粘着層積層タイプ
	1.5	1.5×1,200×15		※受注生産
ネオ・ルーフィングFB	1.7	1.7×1,200×15	押さえ層打設工法用	粘着層積層タイプ
下地処理材				
ネオ・プライマー		15kg/缶		溶剤系
ネオ・プライマーALC		15kg/缶		ALC/パネル専用
ネオ・プライマーPV		15kg/缶		塩ビシート下地用
ネオ・ジョイントプライマー		12kg/缶		シートジョイント用
下地調整材				
フラットタイト®P		18kg/缶		エチレン酢ヒ系現場配合タイプ
フラットタイト®A		20kg/缶		仮防水タイプ
接着剤				
ネオ・ボンドR(RW)		15kg/缶		溶剤系(夏用、冬用) Wは冬用
ネオ・ボンドA		15kg/缶		水性(FBシート専用) ※受注生産
ネオ・ボンドF		15kg/缶		FBシート専用
ネオ・ボンド		15kg/缶		EBシート専用
ネオ・ボンド110JS		6kg/セット(主剤3kg 硬化剤3kg)		ジョイント専用
テナックJボンド		3kg/セット(2.8kg+0.2kg)		ジョイント専用
不定形シーリング材				
ネオ・シール		330ccカートリッジ(25本/箱)	ブチルゴム系シール材	
表面仕上材・軽舗装材				
ネオ・カラーA		15kg/缶		水性アクリルエマルション
ネオ・カラーE		15kg/缶		溶剤系
ネオ・トップブルーFA		18kg/缶		軽舗装用塗料
ネオ・カラーASI		15kg/缶	グレー、グリーン	アクリルシリコン系 ※受注生産
ネオ・カラークール		15kg/缶	グレー、ライトグレー、グリーン	高反射塗料 グリーン購入法適合製品 ※受注生産
ネオ・カラークリーン®		16kg/缶	グレー、グリーン、ホワイト	高耐候高反射塗料 アクリルシリコン系 グリーン購入法適合製品 ※受注生産
テープ類(粘着タイプ)				
EBテープ	1.1mm厚	1.1×120×20	(5巻/箱)	ALC/パネルの目地補強等
	1.3mm厚	1.3×120×20	(5巻/箱)	
ネオ・ルーフィングRN	50mm幅	1.5×50×10	(6巻/箱)	出入隅用増張りテープ ※受注生産
	100mm幅	1.5×100×10	(4巻/箱)	
	200mm幅	1.5×200×10	(2巻/箱)	
	300mm幅	1.5×300×10	(1巻/箱)	
ネオ・シールテープ	30mm幅	2.0×30×10	(10巻/箱)	シート端部補強用 ※受注生産
	50mm幅	2.0×50×10	(6巻/箱)	
	100mm幅	2.0×100×10	(4巻/箱)	
	300mm幅	2.0×300×10	(1巻/箱)	
ネオ・シールテープN(糸入り)	30mm幅	0.8×30×30	(10巻/箱)	シートジョイント用
ネオ・ジョイントテープ	50mm幅	0.8×50×20	(8巻/箱)	シートジョイント用
	110mm幅	1.0×110×15	(4巻/箱)	
Dテープ	30mm幅	0.8×30×30	(10巻/箱)	断熱工法シートジョイント用
EJテープ	70mm幅	1.8×70×15	(6巻/箱)	シートジョイント補強用
	105mm幅	1.8×105×15		
	200mm幅	1.8×200×15	(2巻/箱)	

品 名	規 格		主工法	備 考		
断熱材						
発泡ポリエチレン		4.0×1,000×100	SI-F1 RV-401	フォームエース ※在庫確認必要		
		10.0×1,000×50				
		15.0×1,000×50				
		20.0×1,000×2				
		20.0×1,000×25				
		25.0×1,000×2				
		25.0×1,000×25				
		30.0×1,000×2				
		35.0×1,000×2				
		40.0×1,000×2				
		50.0×1,000×2				
	4mm厚 シボ付き	4.0×1,000×50				フォームエース(通気工法)
	その他副資材					
アルミアングル(コーナー以外は全て2mL)						
ネオ・アングルM-1	2.0×40×70	(20本/箱)		シート端部押さえ金物		
ネオ・アングルM-2	2.0×30×10.5	(20本/箱)				
ネオ・アングルM-3	2.0×30×4	(20本/箱)				
ネオ・アングルM-4	3.0×40	(20本/箱)				
ネオ・アングルM-11	1.5×40×70	(20本/箱)				
ネオ・アングルM-12	1.5×30×10.5	(20本/箱)				
ネオ・アングルM-1コーナー	入隅、出隅	2.0×300×300	(10個/箱)			
脱気部材						
ネオ・ベントップ®	ステンレスキャップ	(2個/箱)	S-F1 S-M1			
ネオ・ベントップ®SUS	オールステンレス	(2個/箱)				
ネオ・バラベントップ®		(20個/箱)	立上り用脱気部材			
脱気テープ		0.25×50×30	(10巻/箱)	脱気工法	粘着層付き不織布	
改修用ドレン						
ネオ・ドレン	タテ型	50mmφ、75mmφ、100mmφ用	(4個/箱)	加硫ゴム系シート防水	ゴム製	
	ヨコ型	50mmφ、75mmφ、100mmφ用	(4個/箱)		ゴム製	
ネオ・ドレン鉛	タテ型	40mmφ～130mmφ用	(2個/箱)	加硫ゴム、ウレタン他	鉛製	
	ヨコ型	30mmφ～140mmφ用	(2個/箱)		鉛製	
ドレン用ストレーナー	縦用	A型ストレーナー 縦(大、小)	(2個/箱)	ネオドレン、ネオドレン鉛	アルミダイキャスト製	
	横用	L型ストレーナー 横(大、小)	(2個/箱)		アルミダイキャスト製	

公共建築工事標準仕様書(令和7年版)〈抜粋〉〈合成高分子系ルーフィングシート防水〉

工法 種別	接着工法				機械的固定工法			
	S-F1		S-F2		S-M1		S-M2	
工程	材料・工法	使用量 (kg/m ²)	材料・工法	使用量 (kg/m ²)	材料・工法	使用量 (kg/m ²)	材料・工法	使用量 (kg/m ²)
1	プライマー塗り	0.2 (0.3) ^(注1)	— (プライマー塗り)	— (0.3) ^(注1)	—	—	—	—
2	接着剤塗布	0.4 ^(注2)	接着剤塗布	0.4	—	—	—	—
3	加硫ゴム系 ルーフィングシート (1.2mm)張付け	—	塩化ビニル樹脂系 ルーフィングシート (1.5mm)張付け	—	加硫ゴム系ルーフィング シート(1.5mm)の 固定金具による固定	—	塩化ビニル樹脂系 ルーフィングシート (1.5mm) ^(注3) の 固定金具による固定	—
4	仕上塗料塗り ^(注4)	—	—	—	仕上塗料塗り ^(注4)	—	—	—

(注) 1.ALCパネル下地の場合は、工程1のプライマーの使用量を()内とする。
2.S-F1で粘着層付又は接着剤付加硫ゴム系ルーフィングシートを使用する場合は、工程2の接着剤の使用量は製造所の仕様による。
3.S-F2およびS-M2で特記により軽歩行仕様とする場合は、ルーフィングシートの厚みは2.0mmとする。
4.S-F1及びS-M1の場合、仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、非歩行仕様とし、使用量はルーフィングシートの製造所の仕様による。

新 築

工法 種別	接着工法				機械的固定工法			
	SI-F1		SI-F2		SI-M1		SI-M2	
工程	材料・工法	使用量 (kg/m ²)	材料・工法	使用量 (kg/m ²)	材料・工法	使用量 (kg/m ²)	材料・工法	使用量 (kg/m ²)
1	プライマー塗り	0.2 (0.3) ^(注1)	— (プライマー塗り)	— (0.3) ^(注1)	—	—	—	—
2	接着剤／断熱材	—	接着剤／断熱材	—	断熱材 ^(注2)	—	断熱材 ^(注2)	—
3	接着剤塗布	0.4 ^(注6)	接着剤塗布	0.4	—	—	可塑性移行防止用 シート敷設 ^(注5)	—
4	加硫ゴム系 ルーフィングシート (1.2mm)張付け	—	塩化ビニル樹脂系 ルーフィングシート (1.5mm)張付け	—	加硫ゴム系ルーフィング シート(1.5mm)の 固定金具による固定	—	塩化ビニル樹脂系 ルーフィングシート (1.5mm) ^(注3) の 固定金具による固定	—
5	仕上塗料塗り ^(注7)	—	—	—	仕上塗料塗り ^(注7)	—	—	—

(注) 1.ALCパネル下地の場合は、工程1のプライマーの使用量を()内とする。
2.SI-M1及びSI-M2の場合、防湿用フィルムの設置は、特記による。
3.工程2の断熱材張付けに用いる接着剤の使用量は、ルーフィングシートの製造所の仕様による。
4.断熱材は、立上り際でルーフィングシートの製造所の仕様により固定する。
5.SI-M2で断熱材に硬質ウレタンフォーム断熱材を用いる場合は、工程3を行わない。
6.SI-F1で粘着層付または接着剤付加硫ゴム系ルーフィングシートを使用する場合、工程3の接着剤の使用量は製造所の仕様による。
7.仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量はルーフィングシートの製造所の仕様による。

新築・断熱

公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版)〈抜粋〉〈合成高分子系ルーフィングシート防水〉

工法 種別	接着工法				機械的固定工法			
	S-F1		S-F2		S-M1		S-M2	
工程	材料・工法	使用量 (kg/m ²)	材料・工法	使用量 (kg/m ²)	材料・工法	使用量 (kg/m ²)	材料・工法	使用量 (kg/m ²)
1	プライマー塗り	0.2 (0.3) ^(注2)	— (プライマー塗り)	— (0.3) ^(注2)	—	—	—	—
2	接着剤塗布	0.4 ^(注4)	接着剤塗布	0.4	絶縁用シート敷設	—	絶縁用シート敷設	—
3	加硫ゴム系 ルーフィングシート (1.2mm)張付け	—	塩化ビニル樹脂系 ルーフィングシート (1.5mm)張付け ^(注5)	—	加硫ゴム系 ルーフィングシート (1.5mm)の固定金具 による固定	—	塩化ビニル樹脂系 ルーフィングシート (1.5mm) ^(注5) の 固定金具による固定	—
4	仕上げ塗料塗り ^(注6)	—	—	—	仕上げ塗料塗り ^(注6)	—	—	—

(注) 1.ALCパネル下地の場合は、機械的固定工法は適用しない。
2.ALCパネル下地の場合は、工程1のプライマーの使用量を()内とする。
3.S4S工法で既存防水層の表面に層間接着用プライマーを塗布した場合は、工程1を省略する。
4.S-F1の場合で粘着層付又は接着剤付加硫ゴム系ルーフィングシートを使用する場合は、工程2の接着剤の使用量は製造所の仕様による。
5.S-F2およびS-M2で特記により軽歩行仕様とする場合は、ルーフィングシートの厚みは2.0mmとする。
6.S-F1及びS-M1の場合、仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、非歩行仕様とし、使用量はルーフィングシートの製造所の仕様による。

改 修

工法 種別	接着工法				機械的固定工法			
	SI-F1		SI-F2		SI-M1		SI-M2	
工程	材料・工法	使用量 (kg/m ²)	材料・工法	使用量 (kg/m ²)	材料・工法	使用量 (kg/m ²)	材料・工法	使用量 (kg/m ²)
1	プライマー塗り	0.2 (0.3) ^(注1)	— (プライマー塗り)	— (0.3) ^(注2)	—	—	—	—
2	接着剤／断熱材	—	接着剤／断熱材	—	断熱材 ^(注4)	—	断熱材 ^(注4)	—
3	接着剤塗布	0.4 ^(注8)	接着剤塗布	0.4	—	—	可塑性移行防止用 シート敷設 ^(注7)	—
4	加硫ゴム系 ルーフィングシート (1.2mm)張付け	—	塩化ビニル樹脂系 ルーフィングシート (1.5mm)張付け	—	加硫ゴム系 ルーフィングシート (1.5mm)の固定金具 による固定	—	塩化ビニル樹脂系 ルーフィングシート (1.5mm)の固定金具 による固定	—
5	仕上げ塗料塗り ^(注9)	—	—	—	仕上げ塗料塗り ^(注9)	—	—	—

(注) 1.ALCパネル下地の場合は、機械的固定工法は適用しない。
2.ALCパネル下地の場合は、工程1のプライマーの使用量を()内とする。
3.S4S工法で既存防水層の表面に層間接着用プライマーを塗布した場合は、工程1を省略する。
4.SI-M1及びSI-M2の場合、防湿用フィルムの設置は、特記による。
5.工程2の断熱材張付けに用いる接着剤の使用量は、ルーフィングシートの製造所の仕様による。
6.断熱材は、立上り際でルーフィングシートの製造所の仕様により固定する。
7.SI-M2の場合で、断熱材に硬質ウレタンフォーム断熱材を用いる場合は、工程3を行わない。
8.SI-F1の場合で粘着層付または接着剤付加硫ゴム系ルーフィングシートを使用する場合、工程3の接着剤の使用量は製造所の仕様による。
9.仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量はルーフィングシートの製造所の仕様による。

改修・断熱

製品を安全にお使いいただくために

施工に際しては標準施工仕様書を必ずお読みください。

シンボルマークと区分	内容の基準
 危険	取り扱いを誤ったときに、使用者が死亡または重傷を負う損害・危険が生じることが想定され、かつ損害・危険の可能性が高い場合。
 警告	取り扱いを誤ったときに、使用者が死亡または重傷を負う損害・危険が生じることが想定される場合。
 注意	取り扱いを誤ったときに、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

1.防水材料について

-  **警告** このカタログに記載されている以外の仕様では使用しないでください。また、飲料水、食品と直接触れるような使用はしないでください。
-  **警告** 重量物ですので、無理のない姿勢で運搬してください。
-  **警告** 保管する場合は、倒れたり、転がらないよう適切な治具やストッパーを用いてください。

2.下地調整剤、接着剤、塗料について

-  **警告** 有機溶剤を含む製品の取扱いは、消防法、労働安全衛生法および、その関連法規を厳守してください。保管および取扱い場所およびその周辺は、作業中、乾燥中とともに火気厳禁です。また、吸入したり皮膚に触れると中毒や皮膚障害を起こす恐れがあります。取扱いには下記の注意事項を守ってください。吸入したり皮膚に触れて異常を感じた場合は直ちに医師の診断をうけてください。
 - 取扱中は、できるだけ皮膚に触れないように注意し、必要に応じて、有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクを付け、さらに頭巾、保護めがね、長袖の作業衣襟巻きタオル、保護手袋などを着用してください。
 - 取扱い場所には局所排気装置を設けてください。
 - 容器から出し入れするときは、こぼれないようにしてください。
 - 取扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。
 - 作業衣などに付着した場合は、その汚れをよく落としてください。
-  **警告** 有機溶剤を含む廃材を、河川、湖沼、海などへ廃棄しないでください。また、中身を残したままの廃棄や火中への投棄はしないでください。
-  **警告** 直射日光を避け40℃以下の乾燥した換気のよい場所、および部外者や子供の出入りできない場所に、密閉して保管してください。
-  **警告** 引火した時は粉末、炭酸ガス、泡消火器または水を噴霧して消火してください。棒状の水を直射すると飛散して危険です。
-  **警告** 指定した以外の材料と混合しないでください。

3.施工について

-  **危険** 墜落防止のため工事現場周辺には安全柵を設けてください。
-  **危険** 室内の通気の悪い場所で取り扱う場合は、防爆型の換気装置で強制押し込み通風による全体換気を行ってください。
-  **警告** 水系塗料の塗布は、気温5℃以下、湿度85%以上では施工を避けてください。塗布後、夏季3時間、冬季6時間以内に降雨や結露が予想される場合は、塗布を避けてください。乾燥後の初期の降雨で泡が発生する場合がありますが、安全性は高く塗膜の異常によるものではありません。

施工中、および施工後の維持管理上のお願い

防水層を傷つけたり防水機能を損なわないために、以下の事項を守ってください。

- ・たき火、花火、喫煙などの火気は厳禁です。
- ・油、有機溶剤、薬品などを付着させないでください。
- ・動物の飼育をしないでください。
- ・防水材のうえを歩行する場合は、靴底の柔らかい履き物を使用してください。
- ・避雷針、テレビアンテナ、空調設備、物干し台などを設置する場合は、ゴムマットなどの下敷材を施してください。
- ・設計時に予定した以上の重量物は設置しないでください。
- ・作業する場合は刃物で傷をつけたり、尖った物、重量のある物で衝撃を与えないでください。



三ツ星ベルト株式会社 建設資材本部

www.mitsuboshi.com

神戸本社	〒653-0024	神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)685-5770 FAX(078)685-5789
東京	〒103-0027	東京都中央区日本橋2丁目3番4号 ☎(03)5202-2506 FAX(03)5202-2526
名古屋	〒485-0077	小牧市大字西之島1818番地 (三ツ星ベルト株式会社 名古屋工場内) ☎(0568)41-7600 FAX(0568)41-7601
神戸	〒653-0024	神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)685-5791 FAX(078)685-5789
広島	〒738-0004	広島県廿日市市桜尾2丁目2番39号 ☎(0829)32-9292 FAX(0829)32-9294
四国	〒769-2401	香川県さぬき市津田町津田2893番地 ☎(0879)42-3189 FAX(0879)42-3186
福岡	〒812-0888	福岡市博多区板付1丁目3番1号 ☎(092)441-4453 FAX(092)451-7186
札幌	〒062-0902	札幌市豊平区豊平2条3丁目1番17号 ☎(011)841-9131 FAX(011)812-9370

- ①最新のカatalogかどうか、お確かめください。
- ②ご不明の点がありましたら、上記までお問合せください。
- ③お断りなく、記載内容を変更する場合があります。
- ④本カatalogの一部または全部を複写、複製、改変することは形態を問わず禁じます。